

食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座実施報告

- 日時・場所：平成19年9月20日（木）岡山市・岡山市保健福祉会館
 平成19年10月18日（木）広島市・広島市保健所
 平成19年11月9日（金）徳島県・徳島県職員会館
 平成19年11月15日（木）大阪府、大阪市、堺市、高槻市、東大阪市
 　　　　　　　　　　　　　　　・ドーンセンター
 平成19年11月28日（水）秋田県・秋田地方総合庁舎
 平成19年12月21日（金）栃木県、宇都宮市・宇都宮市保健所
 平成19年12月26日（水）福岡市・あいれふ
 平成20年1月22日（火）岡崎市・福祉会館
 平成20年1月30日（水）三重県・アストプラザ
 平成20年2月5日（火）大分県・大分県庁
 平成20年3月5日（水）北海道・第2水産ビル

○参加者総計：325名（指導者育成講座受講者他）

○議事概要：

- (1) 開会・趣旨説明 司会：内閣府食品安全委員会事務局勧告広報課職員
 (2) DVD上映 「21世紀の食の安全～リスク分析手法の導入～」
 (3) ファシリテーション基礎講座

講師：神戸まちづくりワークショップ研究会 代表世話人 西 修 氏

<講義>

◇導入とオリエンテーション

- 講座の趣旨、進め方の説明

◇講義「ファシリテーションとは」

- ファシリテーションの考え方と、4つの基本スキルを学ぶ

<グループワーク>

◇セッション1・アイスブレイクと使えるワークショップ（その1）～ワールド・カフェ～

- グループワークに入るための準備と、多人数での情報共有や意見交換を行って相互理解を深めるワークショップを学ぶ

◇セッション2・使えるワークショップ（その2）～付箋を使った話し合い～

- 付箋を使って、グループ内の意見をまとめるワークショップを学ぶ

◇ふりかえり

(4) 閉会

○アンケート：

参加者に実施後アンケートをおこなった。結果は別添のとおり。

平成19年度 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座 開催実績一覧表

(別紙)

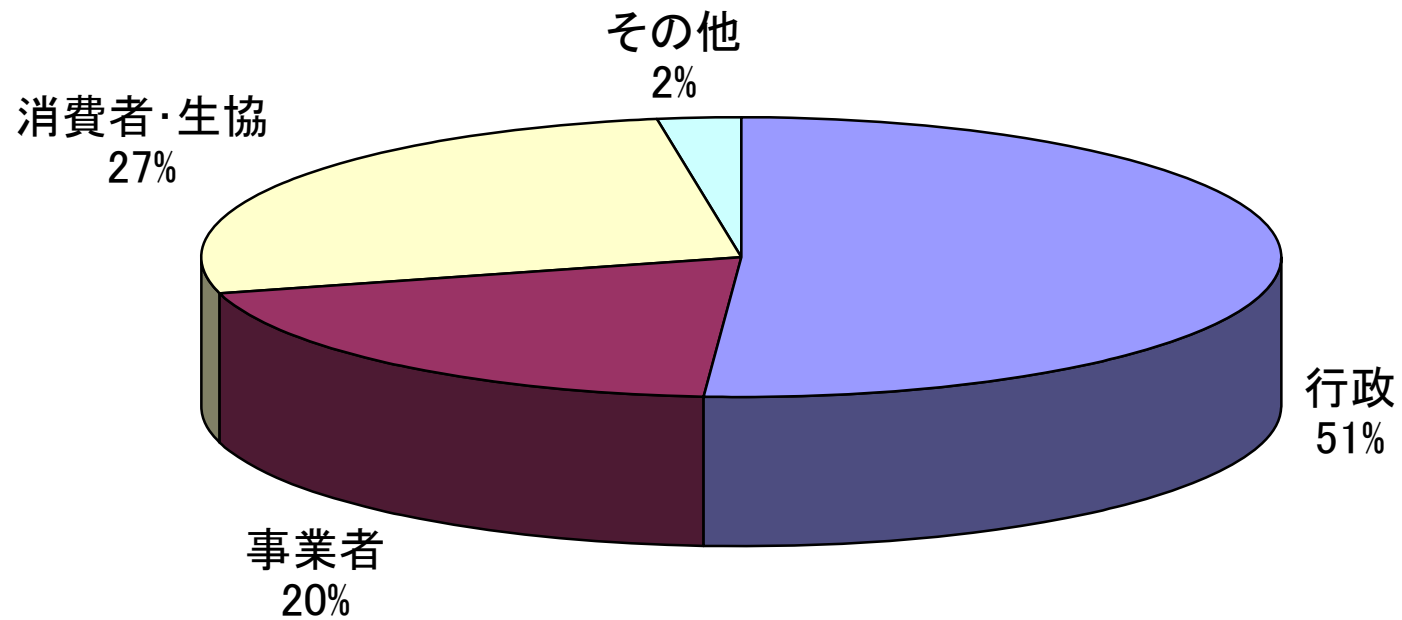
No.	開催地	主催	日程	開催時間	参加者数(人)						講師	
					合計	内訳				(再掲)		
						行政	事業者	消費者・生協	その他	食品安全モニター		FSC公募
1	岡山市	食品安全委員会 岡山市	平成19年9月20日(木)	9:30-17:00	36	24	6	5	1	1	3	西修氏
2	広島市	食品安全委員会 広島市	平成19年10月18日(木)	9:45-17:15	32	14	13	4	1	5	2	西修氏
3	徳島県	食品安全委員会 徳島県	平成19年11月9日(金)	9:45-17:15	31	11	9	10	1	1	4	西修氏
4	大阪府	食品安全委員会 大阪府・大阪市・堺市 ・高槻市・東大阪市	平成19年11月15日(木)	10:00-17:30	34	19	5	9	1	2	3	西修氏
5	秋田県	食品安全委員会 秋田県	平成19年11月28日(水)	9:30-17:00	29	14	9	6	0	1	1	西修氏
6	栃木県	食品安全委員会 栃木県・宇都宮市	平成19年12月21日(金)	9:30-17:00	31	19	5	7	0	0	4	西修氏
7	福岡市	食品安全委員会 福岡市	平成19年12月26日(水)	9:45-17:45	30	15	7	8	0	3	2	西修氏
8	岡崎市	食品安全委員会 岡崎市	平成20年1月22日(火)	9:30-17:00	21	6	3	11	1	0	3	西修氏
9	三重県	食品安全委員会 三重県	平成20年1月30日(水)	9:30-16:45	29	6	1	21	1	1	2	西修氏
10	大分県	食品安全委員会 大分市	平成20年2月5日(火)	9:15-16:30	29	26	3	0	0	0	0	西修氏
11	北海道	食品安全委員会 北海道	平成20年3月5日(水)	9:30-16:45	23	12	3	6	2	3	4	西修氏
合計					325	166	64	87	8	17	28	

1会場あたり平均参加者数:

30名

- ※アルバイトについては、消費者に分類
- ※生産者組合等については、食品事業者に分類
- ※保育園・幼稚園・小中学校関係については、行政に分類
- ※短期大学・大学については、その他に分類
- ※栄養士会については、事業者に分類
- ※自治体の食の安全・安心推進協議会については、消費者に分類
- ※生産者(農業)については、その他に分類

平成19年度 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座
参加者内訳



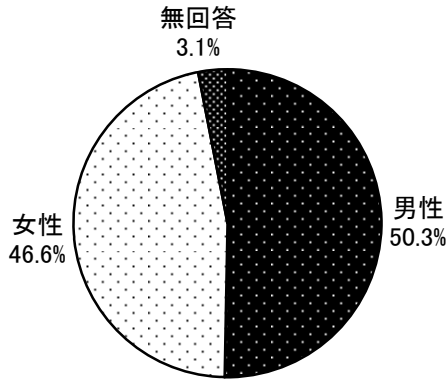
平成19年度食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座
アンケート集計表(グラフ)

参加者数:325

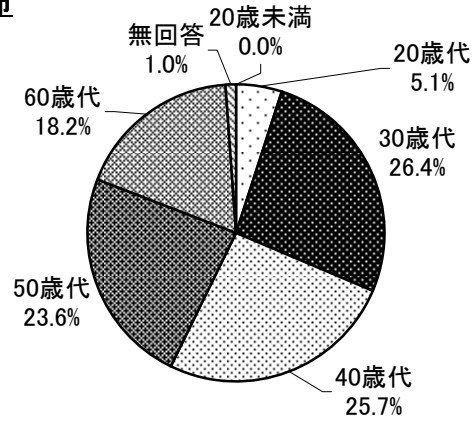
アンケート回収数:292

<アンケート記入者について>

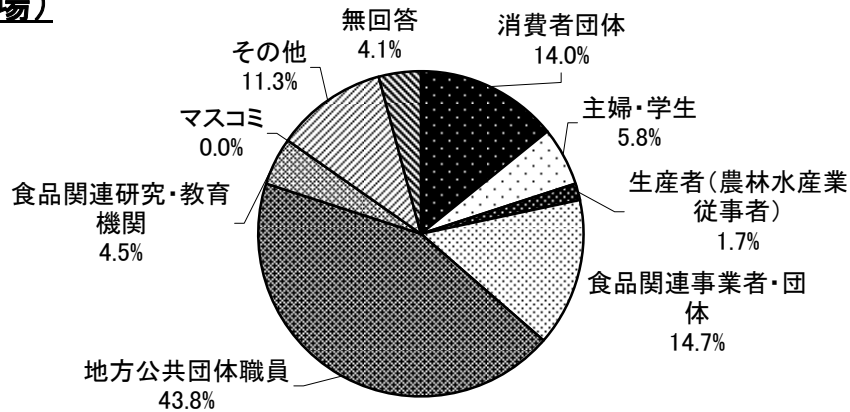
性別



年齢

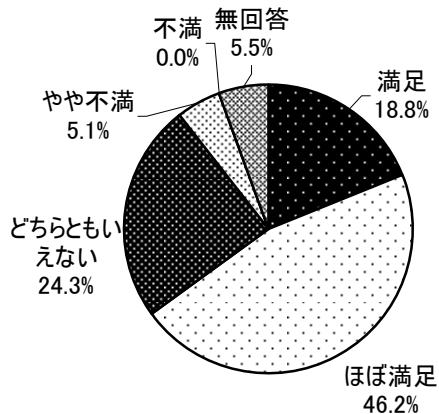


職場等(立場)

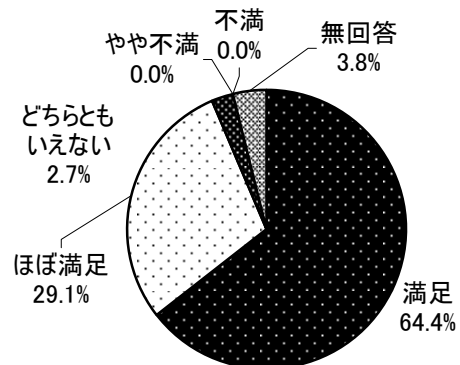


1. 今回の講座の内容はどうでしたか。それぞれについて、該当番号に○を付けてください。

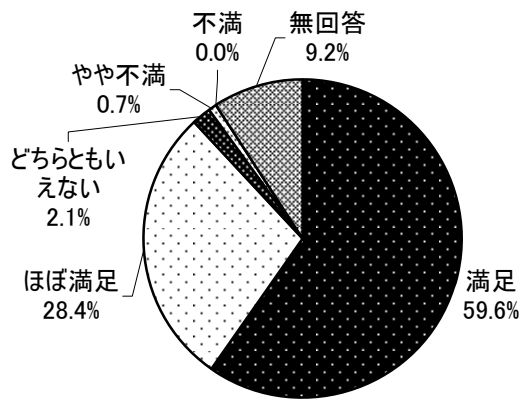
DVD



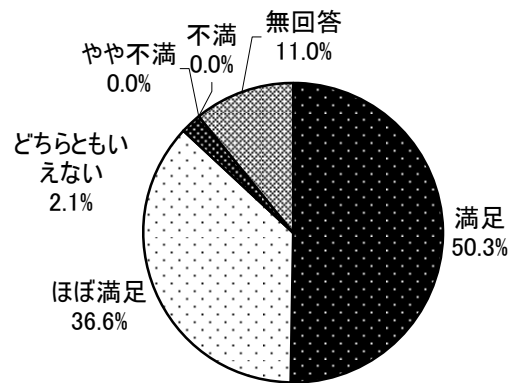
ファシリテーション基礎講座(講義)



**ファシリテーション基礎講座
(グループワーク)**

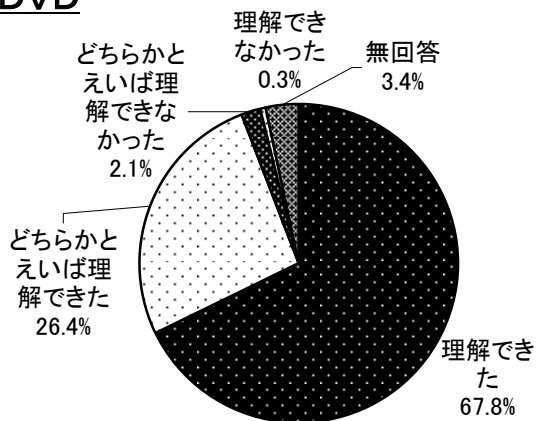


全体を通じて

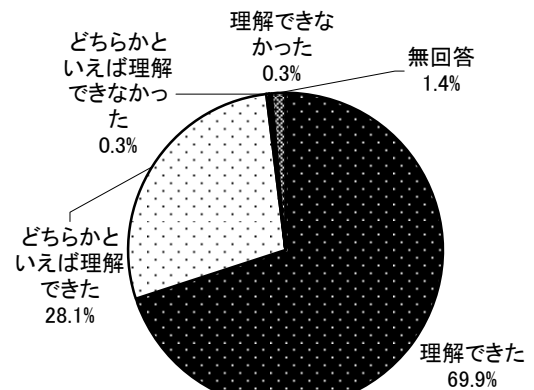


2. 講演の内容は理解できましたか。

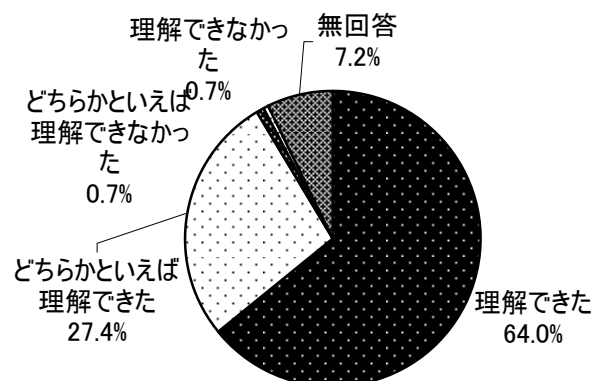
DVD



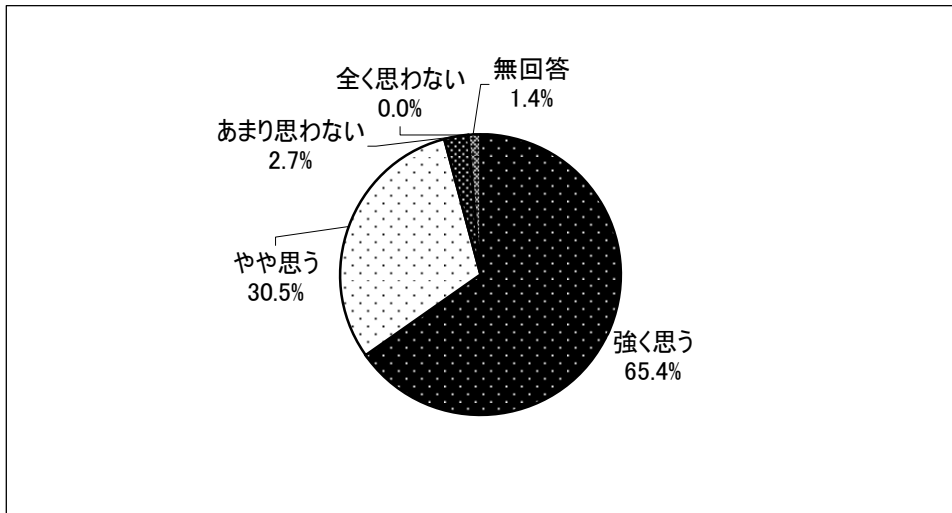
ファシリテーション基礎講座(講義)



**ファシリテーション基礎講座
(グループワーク)**



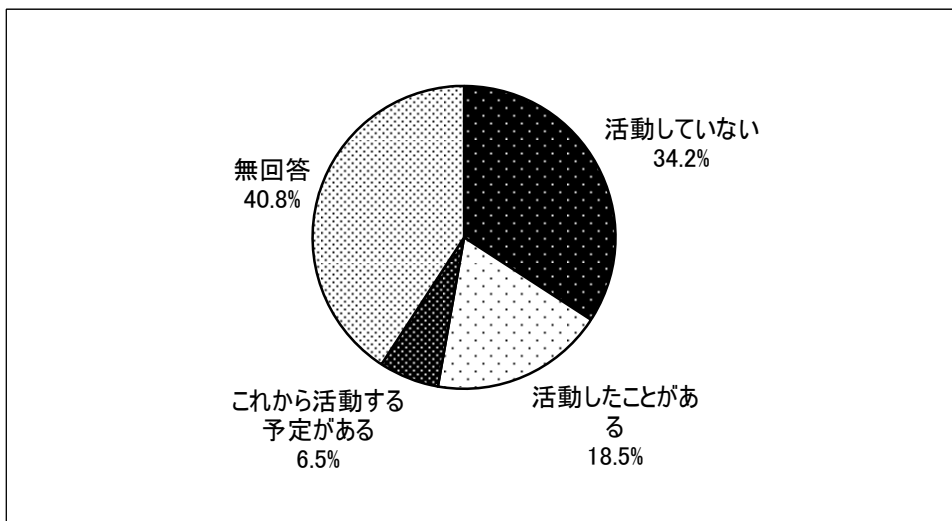
3. 今後、ファシリテーション能力を向上させたいと思いますか。



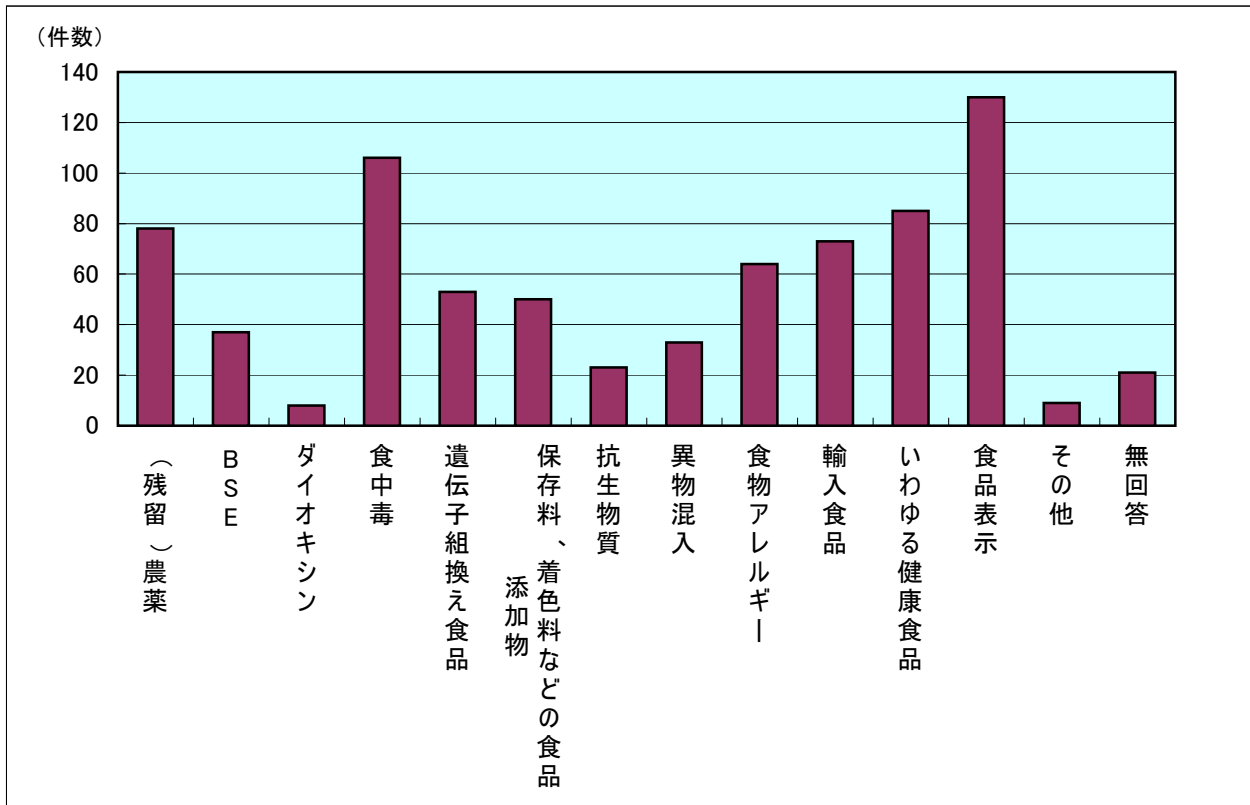
5. 過去に食品安全委員会が主催した「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座」を受講された方へお尋ねします。

本講座で得た知識・経験を踏まえ、地域の方にリスク分析の考え方を浸透させるため、受講後、何か活動をされましたか。

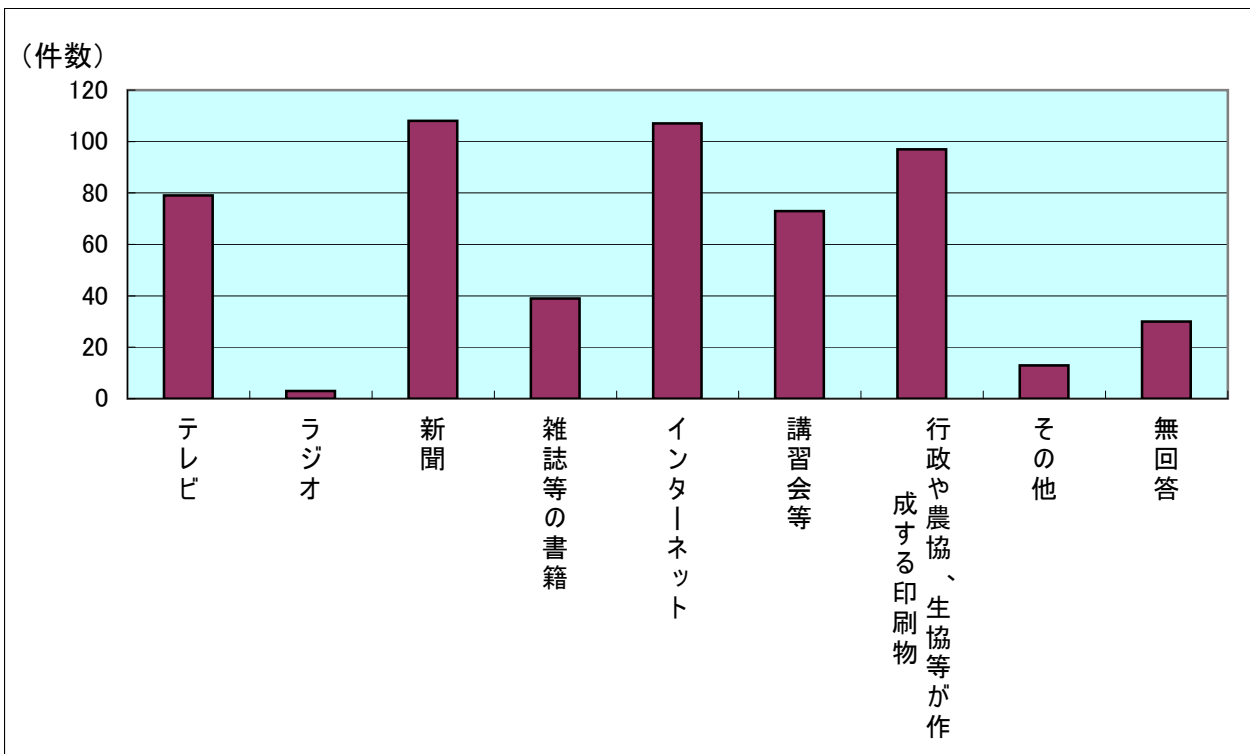
当該設問回答数: 173



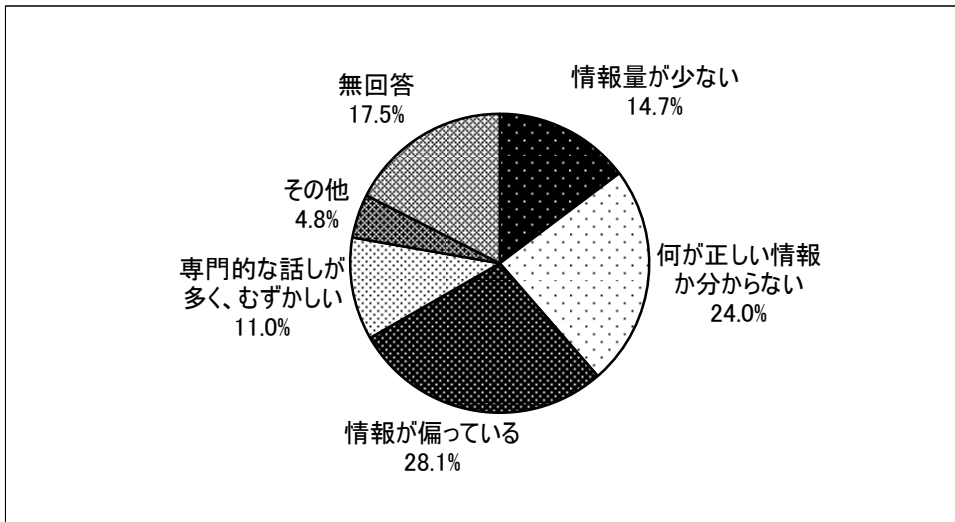
6. 食品の安全性に関して次のどの事項に不安を感じますか(3つまで)



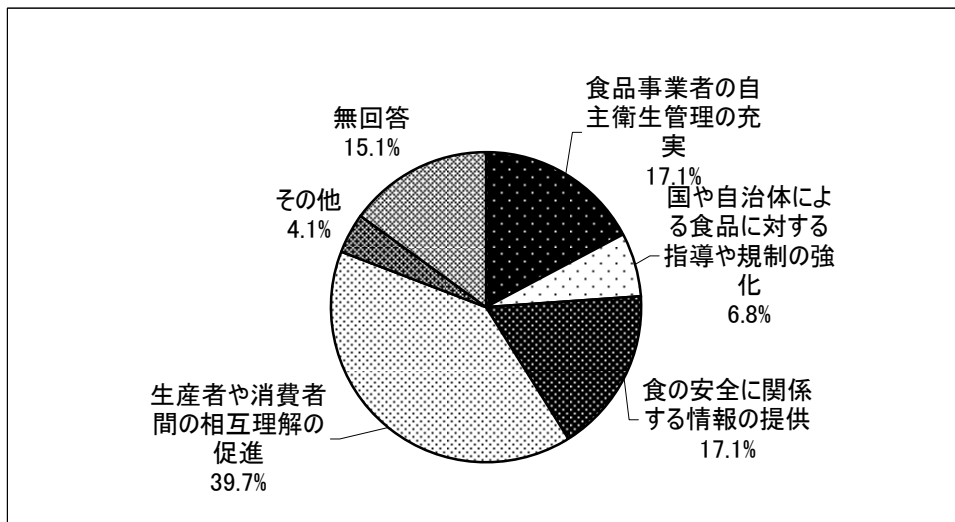
7. あなたは、食品の安全性に関する情報をどこから入手しますか(2つまで)



8. 食品の安全性に関する情報の内容について、どう思われますか



9. 食品の安全性確保のためにはどんな方法が最も効果があると思いますか



■リスクコミュニケーター育成講座:アンケート自由記述より

平成19年度	
時間割	【全日:基本6.5時間(昼食の時間を省いて)】 講義とグループワーク
全体	大変有意義な講座であった、とても充実したもので、役に立つ研修であったと講座を評価する感想の他、講座の時間に関して意見が多かった。内容が濃いため、もう少し時間が必要、2日間のほうが良いといった意見と、時間が長すぎる、半日の研修にしてほしいといった意見と二極化された。また、講座の目的と意義をより明確にしてほしかったという意見も寄せられた。
DVD「21世紀の食の安全～リスク分析手法の導入～」	【当講座で上映することについて】 よかったという感想が寄せられた一方、省略したほうが良いといった意見もあった。 【どのような場で活かしたいか】 社内での研修、身近な人に見せたい、教育現場に活かしたい、リスク分析手法をわかりやすく職場に浸透させたいといった意見が多かった。一方、どう使ったらいいかわからない、活かす場所はない、ADIやNOELなどについていっていたが素人には理解できないといった意見も見られた。
ファシリテーション基礎講座	【どのような場で活かしたいか】 ワークショップについては地域のリスクコミュニケーションやサイエンスカフェ、会議・集会、講習会で取り入れたいという意見の他、傾聴についてはまずは私生活や職場といった場面や、電話や対面でのお客様対応のときに活かしたいとの意見があった。すぐには活かそうにない、まずは本を読んで勉強してみたいといった意見が寄せられた。
午前の講義「ファシリテーション基礎講座」	講師の西氏の人柄もあり、ユーモアや実例を交えながら大変わかりやすい講義であったという意見が多かった。 一方、カタカナ語が多く一般的ではないとの意見もあった。
午後のグループワーク	具体的でかつ、内容が濃く満足、自由に意見が言えてよかったとの感想が多かった。一方、グループワークの時間については長短賛否両論であった。話し合いのテーマの選定は慎重に行ってほしいという意見もあった。
自治体および食品安全委員会から、活動する上での支援について	資料、DVD等の啓発ツールの貸し出し提供、最新情報の提供を希望する意見が多かった。そのほか、当講座のような研修の定期的な開催や意見交換会などの開催の案内、講師の紹介という意見があった。また、理想的なリスクコミュニケーター像を示してほしいという意見もあった。
その他	食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座という講座の名称を「リスク伝達者」としたほうが良いのではないかとの意見があった。 また、このような講座は農水省(リスク管理機関)と共催してほしいという意見もあった。

○ 指導者育成講座受講者に対して、受講後の活動状況

<p>【活動したことがある】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロスロードの活用(高校生、意見交換会、社内の研修、講習会など) ・リスクおよび、リスク分析、リスクコミュニケーションについて解説(集会、講習会、生産者団体、社内研修など) ・リスクコミュニケーションの実践(消費者50名弱のグループで実施、伝達講習会を実施) <p style="text-align: center;">等</p> <p>【これから活動する予定がある】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人を集めて、食の安心安全に関する講座を開催予定 ・高齢者施設に行って話したい ・同業者の集まりで利用したい <p style="text-align: center;">等</p>
--